

## 農事組合法人 樽見内営農組合

平成17年に発足し、平成23年に法人化。水稻、そば、小ぎく、そらまめを生産。労働環境の改善や従業員の農業生産に対する意識向上を図るため、ASIAGAP及びJGAP認証を取得。

代表者名：渡部 一男 面積：105ha  
所在地：秋田県横手市 品目：米(粳、玄米、精米)  
構成員：56名 認証：ASIAGAP(H28年)、JGAP(H30年)

### 取組の紹介

#### 【生産工程管理の改善の取組】

- ほ場の図面、作業場等の配置図がひと目でわかるよう掲示しているほか、各作業場に農業機械事故防止マニュアルや緊急連絡先を掲示し、事故の未然防止と緊急事態発生時のルールを周知。
- 全従業員を対象に、5月に年間を通じた作業工程や労働安全・リスク評価等について、9月に秋の作業工程等について情報共有している。

#### 【GAPの継続に向けた取組】

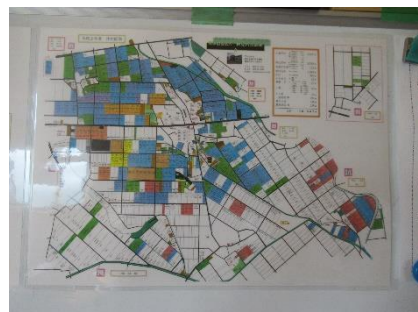
- 構成員5人がJGAP指導員資格を取得しており、従業員へのスムーズな指示・伝達につながっている。
- 平成30年に新規就農した若手農業者にもGAPの教育訓練を積極的に行い、組織内でGAPの取組が継続できるよう人材を育成。

#### 【経営改善に向けた取組とその効果】

- 平成26年に兵庫県の企業と共同で玄米を輸出する会社を設立。輸出先のシンガポールで、HACCPの衛生管理手法を取り入れた現地精米を行っており、消費者に常時高品質な米を供給。GAP認証を取得したことにより、原料も安全・安心な米という評価が加わり、輸出向け販売量が約104t(令和元年産米)と年々増加している。



樽見内営農組合の構成員



ほ場図面の掲示



シンガポール向けパッケージ

### ホームページ